

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

彦根の地場産業 ファンデーションに迫る 特集



▲かつての生産工場の様子

明治政府が富国強兵策の一環として地方各地で繊維工業に力を入れているところに、歴史の始まりをみることが出来ます。

彦根も明治10年ごろから、製糸工場が相次いで建てられ、足袋の生産が盛んに行われていました。やがて、彦根は足袋の「美しい、優れた仕上げ」で知られるようになりました。「繊維工業のまち・彦根」の姿が、明治時代にすでに始まっています。

足袋からファンデーションへ

戦後、洋服が人々の暮らしに定着し、洋装の靴下やストッキング

が流行し始め、足袋産業は衰退していきましました。足袋工場には、ミシンと縫製技術を持つ女性従業員が残りましました。この状況で、次の産業として考えられたのが、ブラジャーの生産でした。

当初は国内向けを中心とした生産が進められました。しかし、ブラジャーの認知度は低かったため売上は思うように伸びませんでした。その後、米国への輸出に方針転換したことを機に需要は膨れ上がり、ブラジャーの大量生産が開始されました。

周田からも彦根地域がファンデーション産地と認識され始め、新規参入する企業が相次ぎ、主力工場として発展していきましました。

輸出規制の危機を乗り越え

昭和30年ごろに輸出のピーク時期を迎えましました。1回の船便で2〜3万ダース(24〜36万枚)のブラジャーを輸出することもあり、工場での生産が間に合わないほどの勢いがあったと言われています。

昭和32年、米国向け輸出がいつ

足袋づくりの高度な技術が受け継がれ発展をむかえる



▲▼ひこね繊維協同組合員の生産工場の様子。伝統に培(つちか)われた高度な技術力が生かされた商品が作られています。

ファンデーション産地 彦根から世界へ

彦根市には、数多くの産業があります。その中でも、伝統的な地場産業として、仏壇、バルブ、ファンデーションの3つの産業があります。これらの産業は、歴史があり、彦根市の発展に大きく貢献してきましました。

今回は、ファンデーションを紹介しまします。ファンデーションとは、体形を整えるための女性用下着のことです。代表的なものにブラジャー、ガードル、ボディスーツなどがあります。

彦根市でファンデーションが発展してきた歴史的な背景や、現在ファンデーション業界で起きている新たな取り組みを紹介しまします。

※地場産業：地元資本による中小企業が一定の地域に集中的に立地している産業

問い合わせ先

ファンデーションに関して
ひこね繊維協同組合(中央
町) ☎22-4769番、FAX
X22-4722番
地場産業の振興に関して
商工課 ☎30-6119番、
FAX22-1398番



そのの伸びを示しているとき、米側から輸出に対する自主規制を要求され、後にそれが本格的な輸出規制へと変わりました。

国内向け生産への転換を余儀なくされましましたが、国内需要も増加しており、ファンデーションは彦根の地場産業として形成されていきましました。

協同組合設立、新たな動きへ

昭和39年に現組合の前身である「彦根市縫製工業協同組合」が設立

されましました。最盛期のブラジャーの生産量は、国内シェアの6〜7割あったと言われています。

平成17年に、ファンデーションの文化・歴史・技術を継承した若手経営者らに世代交代して「ひこね繊維協同組合」が設立されましました。産地彦根を誇る優れた品質・技術・設備などを生かした「ものづくり」を展開し、独自の産地ブランドの構築を目指し、ファンデーションの産地として今日に至っています。

ご存知ですか 彦根の地場産業

仏壇

起源は江戸時代中期ごろとされており、武器・兵器の職人が、時代の移り変わりとともに、その技術を生かし仏壇製造に転向したのが始まりと言われています。

彦根仏壇は独自の技法と品質のよさが認められ、昭和50年に、通商産業大臣(現在の経済産業大臣)による伝統的工芸品の産地指定を受けましました。その後も品質の向上に努め、販路を拡大したことから、地場産業の一つとして大きく飛躍し、現在に至っています。

バルブ

彦根バルブの歴史は、明治中期に製造が始まり、その後、近代的な経営とともに、県内では最大規模の地場産業が形成されましました。

現在では、水道の蛇口をはじめ、上下水道や船舶、ビルの配管などに、バルブは幅広く使用されています。見えないところに設置されていることも多いため、あまり見かけまませんが、バルブは私たちの生活に欠かせないものになっています。

